

三菱オゾン下水高度処理設備 宇治川の水質改善に貢献

京都市上下水道局様 伏見水環境保全センター (京都市)

処理水量：125,000m³/日
処理目的：消毒、脱色、COD低減
オゾン発生量：40kg O₃/h×2台
供用開始：平成18年4月

オゾンによる 下水高度処理について

伏見水環境保全センターは京都市で3番目に建設され、酒どころとして有名な伏見地区の下水を処理して宇治川に放流しています。

同センターは消毒や染色排水に由来する色度、CODの低減を目的としてオゾン処理を導入しております。

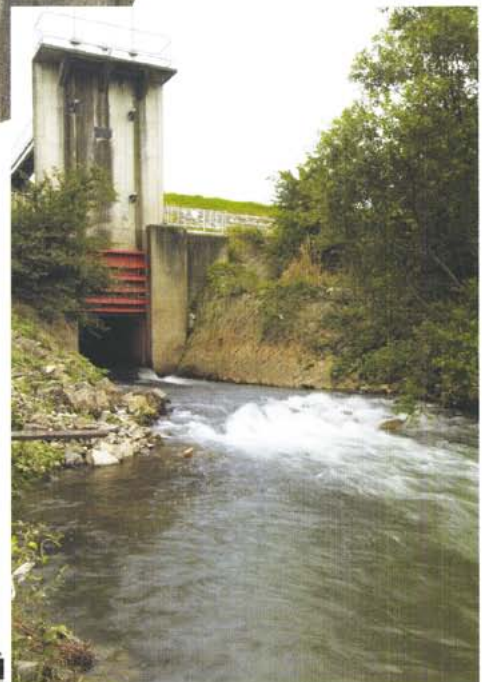
オゾン処理設備の電力はガスコージェネレーション設備から供給し、排熱を有効利用することによりCO₂排出量の削減に貢献しています。



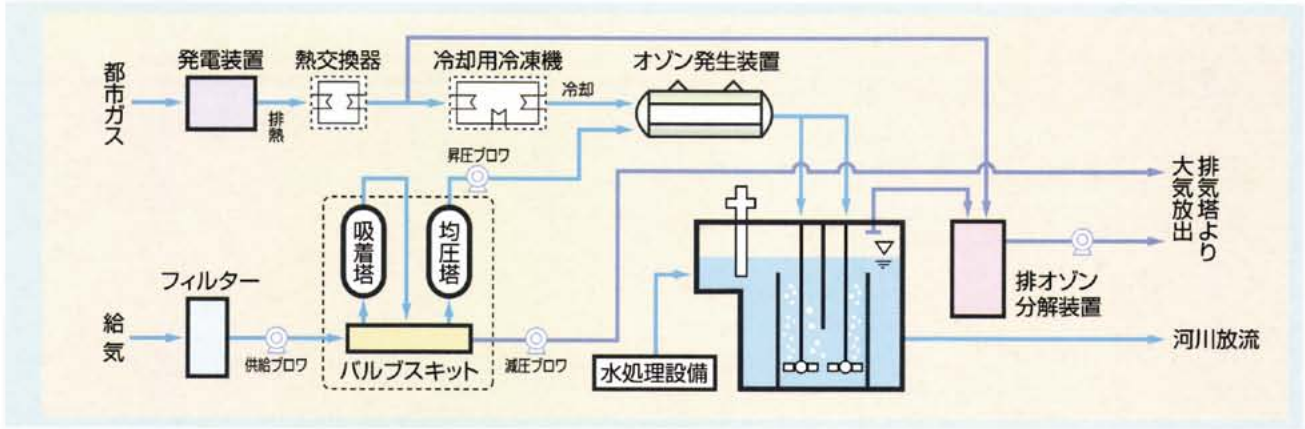
▲ 伏見水環境保全センター全景



▼ オゾン処理棟



▲ 放流口



▲ オゾン発生装置



▲ オゾンモニタ



▲ 排オゾン分解装置



◀ 電源装置

コージェネレーション関連設備



▲ オゾンヘッド



酸素発生装置関連設備